

2024年12月期 第1四半期 決算説明資料

協和キリン株式会社

 **KYOWA KIRIN**

アジェンダ

財務レビュー

常務執行役員 Chief Financial Officer (CFO) **川口元彦**

コマーシャルアップデート

常務執行役員 Chief Strategy Officer (CSO) **藤井泰男**

R&Dアップデート

取締役専務執行役員 Chief Medical Officer (CMO) **山下武美**

2024年のニュース

常務執行役員 Chief Strategy Officer (CSO) **藤井泰男**

Q&A

取締役専務執行役員 Chief Medical Officer (CMO) **山下武美**

常務執行役員 Chief Financial Officer (CFO) **川口元彦**

常務執行役員 Chief Strategy Officer (CSO) **藤井泰男**

本資料には、当社（国内外の連結子会社を含む）の見通し、目標、計画など、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報や予測をもとになされた当社の合理的な判断に基づくものですが、実質的にこれら記述とは大きく異なる結果を招く不確実性を含んでいます。

これら不確実性には、国内外製薬業界の事業活動に潜在するリスク、知的財産権にかかるリスク、副作用に関するリスク、法的規制リスク、製品の欠陥等の発生リスク、原燃料価格の変動リスク、製品市況価格の変動リスク、為替・金融市場の変動リスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料は、投資家の皆様に向けて情報を提供することを目的としたものであり、内容には医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

財務レビュー

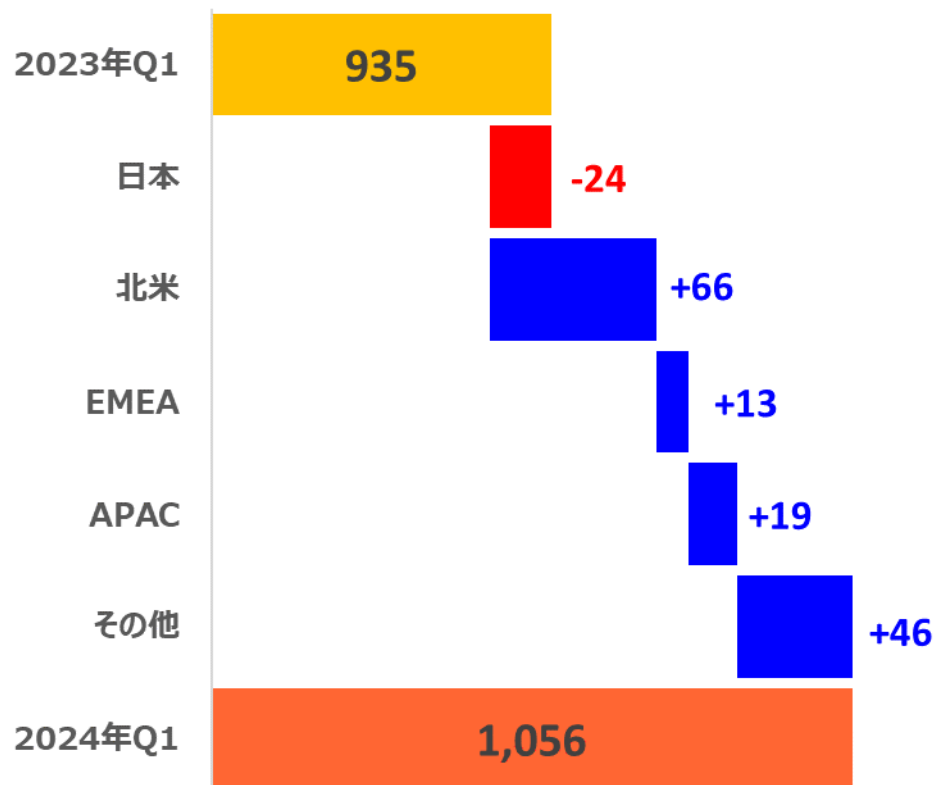
Q1業績サマリー

(単位は億円、単位未満四捨五入)

	2023年 Q1実績	2024年 Q1実績	増減	2024年 予想	進捗率
売上収益 [海外売上比率]	935 [63%]	1,056 [68%]	+120 (+13%)	4,730 [70%]	22%
売上総利益 [売上総利益率]	746 [80%]	800 [76%]	+54 (+7%)	3,480 [74%]	23%
販売費及び一般管理費 [販管費率]	418 [45%]	402 [38%]	-16 (-4%)	1,660 [35%]	24%
研究開発費 [研究開発費率]	166 [18%]	233 [22%]	+67 (+40%)	1,000 [21%]	23%
持分法投資損益	8	9	+1 (+13%)	30	30%
コア営業利益 [コア営業利益率]	170 [18%]	174 [16%]	+4 (+2%)	850 [18%]	20%
当期利益/四半期利益	128	146	+19 (+15%)	630	23%

対前年分析～売上収益～

**売上収益 +120億円
(うち為替 +73億円)**



● **日本 -24億円**

ダーブロック・フォゼベル・クリスビータなどが伸長したものの、2023年4月の薬価改定影響に加え、競合品の影響を受けたジースタの減収により、日本リージョンは7%の減収。

● **北米 +66億円 (うち為替+34億円)**

Crysvita(+21%)・Poteligeo(+44%)がそれぞれ売上を伸ばし、北米リージョンは26%の増収。

● **EMEA +13億円 (うち為替+20億円)**

エスタブリッシュト医薬品事業のGrünenthal社との合弁化に伴い、2023年8月よりAbstral等13ブランドの売上収益が製品売上から売上ロイヤリティ及びライセンス利用料に移行したものの、Crysvita(+49%)・Poteligeo(+29%)がそれぞれ売上を伸ばし、EMEAリージョンは8%の増収。

● **APAC +19億円 (うち為替+7億円)**

Crysvita・Nespなどが売上を伸ばし、APACリージョンは26%の増収。

● **その他 +46億円 (うち為替+12億円)**

ファセンラ(ベンラリズムブ)売上ロイヤリティの増加やベーリンガーインゲルハイム社とのライセンス契約に係る契約一時金収入に加え、Orchardの新規連結により、その他は42%の増収。

日本の主要アイテム売上収益

(単位は億円、単位未満四捨五入)

製品名など	2023年 Q1実績	2024年 Q1実績	前年比	増減要因	2024年 予想	進捗率
クリースビータ	23	25	+2 (+7%)	市場浸透(2019.12発売)	129	19%
ポテリジオ	4	4	+0 (+1%)		19	23%
ネスプ+ネスプAG ¹	42	35	-8 (-18%)		144	24%
ネスプ	8	7	-1 (-9%)	薬価改定・ 競合品影響	28	25%
ネスプAG	35	28	-7 (-20%)		117	24%
ダーブロック	18	25	+7 (+37%)	市場浸透(2020.8発売)	122	20%
フォゼベル	-	6	+6 (- %)	2024.2発売	33	19%
オルケディア	22	22	-1 (-2%)		117	19%
ジーラスタ	70	58	-13(-18%)	競合品影響	205	28%
リツキシマブBS	22	19	-3 (-13%)	薬価改定	79	24%
ロミプレート	27	30	+3 (+12%)	市場浸透(2019.6適応拡大)	132	23%
ノウリアスト	17	15	-2 (-9%)		71	21%
ハルロピ	9	10	+0 (+4%)		52	19%

1 正式名はダレバポエチナルファ注シリンジ「KKF」。製造販売元は協和キリンフロンティア株式会社、販売元は協和キリン株式会社。

海外の主要アイテム売上収益

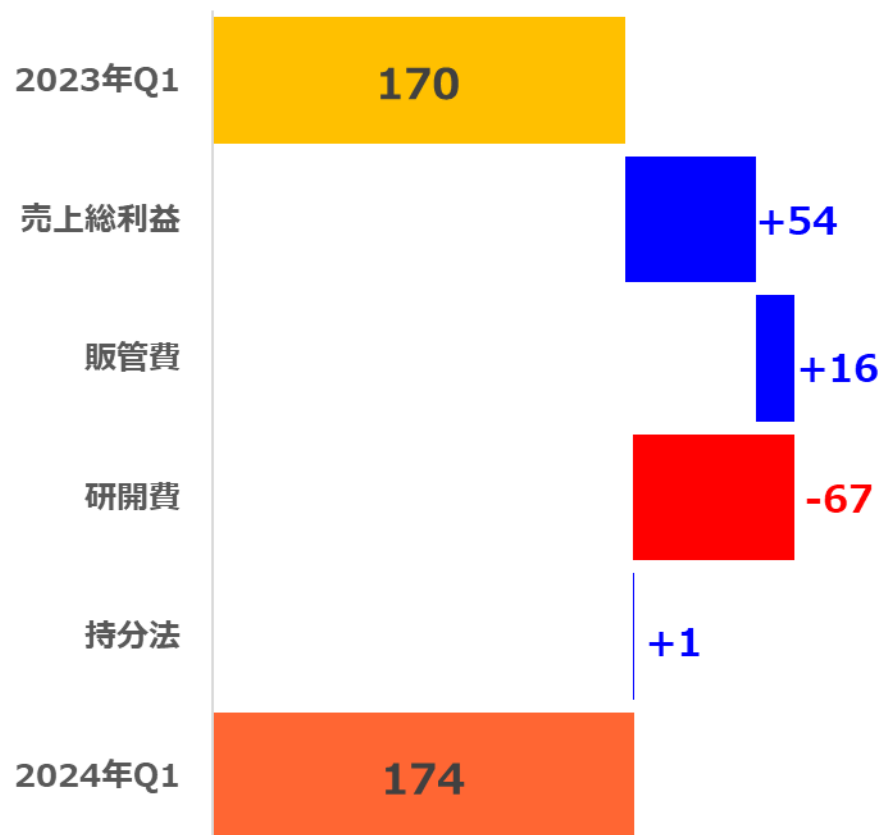
(単位は億円、単位未満四捨五入)

製品名など	2023年 Q1実績	2024年 Q1実績	前年比	増減要因	2024年 予想	進捗率
Crysvita	271	354	+82 (+30%)	[北米] 市場浸透 [EMEA] 上市国・適応拡大(成人/TIO) [APAC] 上市国拡大	1,759	20%
北米	188	228	+40 (+21%)			
EMEA	80	119	+39 (+49%)			
APAC	3	6	+4 (+144%)			
Poteligeo	58	82	+24 (+41%)	[北米] 市場浸透 [EMEA] 上市国拡大・市場浸透	325	25%
北米	43	63	+19 (+44%)			
EMEA	15	19	+4 (+29%)			
APAC	-	0	+0 (-%)			
Libmeldy / Lenmedly	-	11	+11 (-%)	Orchard新規連結 (2024.3 米国FDA承認)	45	25%
Nourianz	17	16	-1 (-7%)		85	18%
Nesp	22	29	+7 (+32%)		107	27%
Gran	14	18	+3 (+24%)		72	25%
技術収入	89	117	+28 (+31%)	ベーリンガーインゲルハイム導出一時金、 ファセンラ伸長	450	26%
ベンチライズマブ ロイヤルティ ¹	57	64	+7 (+12%)			

1 AstraZenecaが販売するファセンラの売上ロイヤルティ(当社独自の見積もりを含む)

対前年分析～コア営業利益～

**コア営業利益 +4億円
(うち為替 +21億円)**



- **売上総利益 +54億円 (うち為替+64億円)**

売上収益増加(+120億円)に伴い増益。北米でのCrysvita自社販売を開始した2023年4月27日以降計上している販売ロイヤルティの影響により売上原価が増加したため、売上総利益率は前年同期を下回った(80%→76%)。

- **販売費及び一般管理費 +16億円 (うち為替-25億円)**

為替影響や人件費等の増加があったが、北米でのCrysvita自社販売を開始した2023年4月27日以降のプロフィットシェア費用計上がなくなった影響により減少。
[人件費 -30、販売促進費 +70(Crysvita北米プロフィットシェア費用 +76)など]

- **研究開発費 -67億円 (うち為替-18億円)**

第Ⅲ相国際共同治験を実施中のKHK4083の開発進展とOrchardの新規連結により増加。

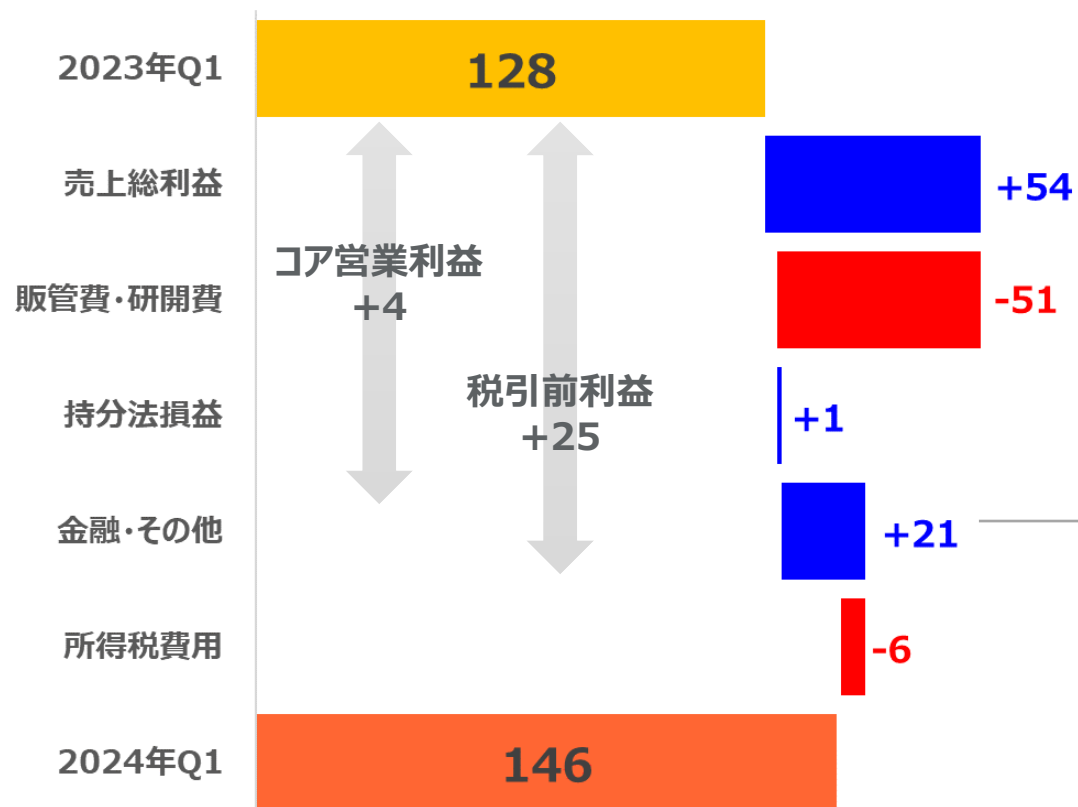
- **持分法投資損益 +1億円**

繰延税金資産の取り崩しがあったが、FKBのHulio(FKB327/アダリムマブBS)は引き続き成長。

FKB：協和キリン富士フィルムバイオロジクス株式会社

対前年分析～四半期利益～

四半期利益(1-3月)
+19億円



● 金融・その他 +21

- 固定資産売却益 +24 (0 → 24)
- 減損損失 +9 (11 → 2)
- 契約損失引当金 +6 (6 → 0)
- 事業構造改善費用 -18 (5 → 23)

コマーシャルアップデート

2024年キーアクション・Q1トピックス

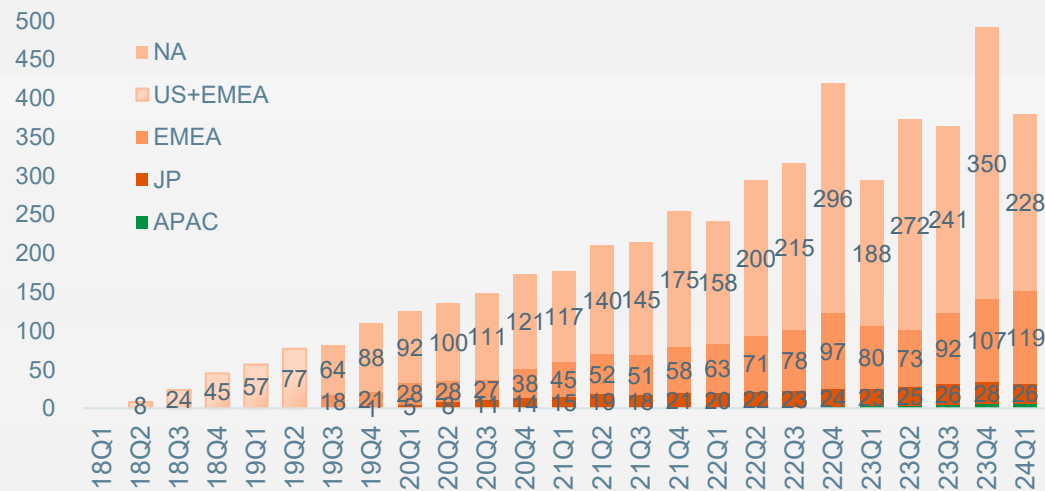
2024年キーアクション

- エビデンスに基づくマーケティング活動の強化。
- 北米：疾患啓発活動の強化。自販体制基盤のさらなる強化。
- EMEA：引き続き、適応及び上市国・地域の拡大に注力。成人XLHにおける市場浸透。
- 日本：専任担当者を中心とするプロモーション活動のさらなる強化、成長加速。

Q1トピックス

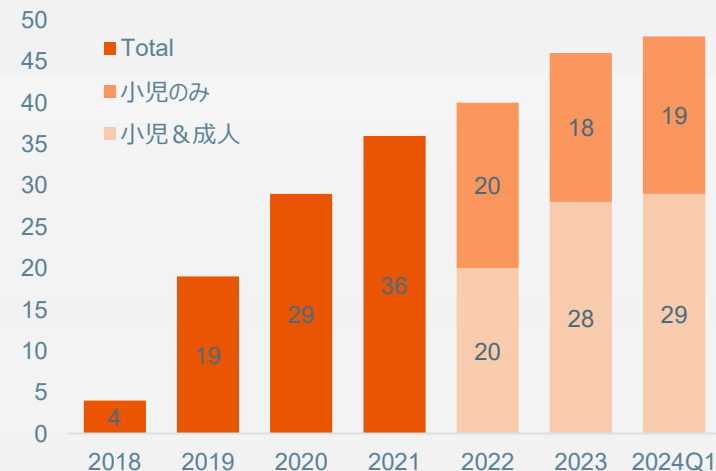
- エビデンスに基づくマーケティング活動の強化。
- 北米：新規スタートフォームの数、新規治療患者数は引き続き堅調に推移。診断から治療開始までの患者支援プログラム強化を継続。売上収益は季節要因を受けるも、前同比21%増収で概ね計画通り推移。
- EMEA：売上収益は、前同比49%の増収。前年同期に比べ、成人保険償還による市場拡大及び患者浸透が進み、着実に成長。
- 日本：専任担当者を中心とするプロモーション活動を継続。

売上収益



*EAP (Early Access Program) による収益は2022年度まで売上収益に含めず、2023年度以降は金額的に僅少になることから売上収益に含めています。

XLH上市国・地域数



*Ultragenyx社が売上計上するラテンアメリカ及びトルコは含みません。

2024年キーアクション・Q1トピックス

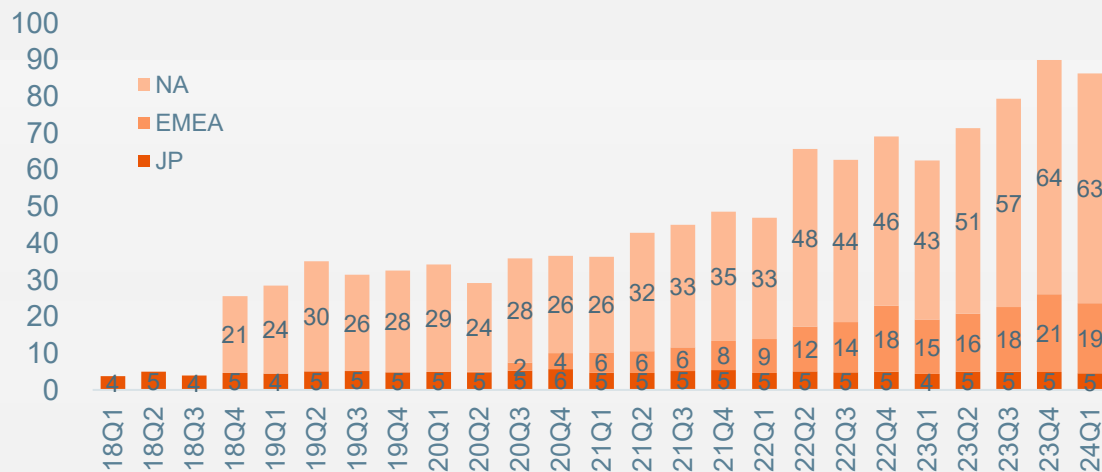
2024年キーアクション

- エビデンスを活用したマーケティング活動の進化による、既存マーケットへのさらなる浸透とターゲットの拡大。
 - ◆ 病状を正確に診断するための啓発活動（専門医への早期受診及び血液検査実施）を継続
 - ◆ 皮膚症状のあるMF患者さんに焦点を当てたプロモーション活動の拡大
 - ◆ 上市国/地域の拡大

Q1トピックス

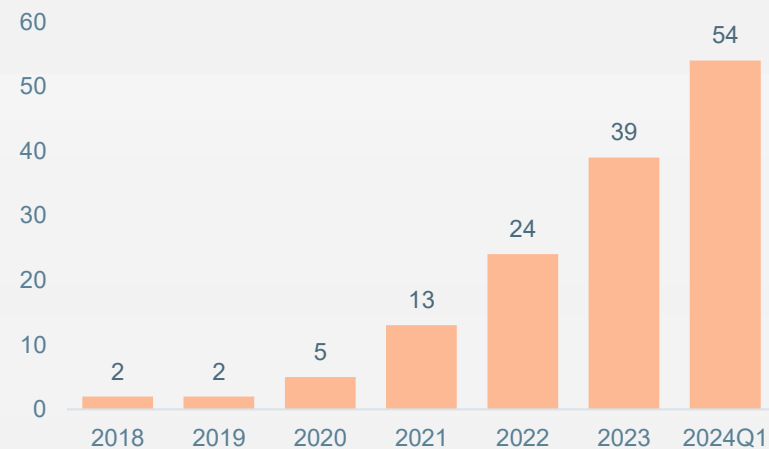
- 米国：売上収益は、前同比44%の増収。ニーズ解析に基づいて適切な施設にプロモーション活動を押し進めることで、患者浸透が着実に進んでいる。
- 欧州：売上収益は、前同比29%の増収となり、概ね計画通り進捗。

売上収益(億円)



*EAP (Early Access Program) による収益は2022年度まで売上収益に含めず、2023年度以降は金額的に僅少になることから売上収益に含めています。

上市国・地域数



R&Dアップデート

主要開発パイプラインのニューズフロー

開発コード 一般名	イベント (実施済みは太字表記)	予定時期 (オレンジ: 済)
KHK4083/AMG 451 rocatinlimab	アトピー性皮膚炎 P3 (ROCKETプログラム)	進行中
	喘息 P2 開始 ¹	2024年Q2
	結節性痒疹 P3 開始	2024年下期
KHK4951 tivozanib	滲出型加齢黄斑変性 P2	進行中
	糖尿病黄斑浮腫 P2	進行中
KK4277	SLE, CLE P1	進行中
KK2260	進行性又は転移性固形がん P1	進行中
KK2269	進行性又は転移性固形がん P1	進行中
KK2845	AML P1 開始	2024年Q2
KK8123	XLH P1 開始	2024年Q2-Q3
Atidarsagene autotemcel (前 OTL-200)	異染性白質ジストロフィー 米国承認	2024年3月
OTL-203	ムコ多糖症I型 (Hurler症候群) ピポタル試験 ²	進行中
OTL-201	ムコ多糖症IIIA型 (Sanfilippo症候群A型) PoC試験 ³ 試験結果発表	2024年2月

1. 患者さん登録の開始; 2. P3試験相当; 3. P1/2試験相当

2024年のニュース

2024年初来の主なニュース

分類 公表日

ニュース概要

2024年5月7日現在

SP	1/5	線維化を伴う炎症性疾患治療薬の開発を目的とする化合物の独占的開発権をベーリンガーインゲルハイム社へ導出
SI	1/24	英国バイオ医薬品企業Orchard Therapeutics plc社の株式取得（子会社化）完了
R&D	2/5	ムコ多糖症 I 型（Hurler症候群）を対象としたOTL-203の臨床試験で最初の被験者の参加発表
R&D	2/6	糖尿病黄斑浮腫を対象としたtivozanib点眼液の第2相国際臨床試験における最初の症例登録完了
R&D	2/7	BridgeBio Pharma社と日本における骨系統疾患を対象としたinfigratinibの独占的ライセンス契約を締結
Finance	2/7	自己株式の取得及び自己株式の消却を決議
MKT	2/19	高リン血症治療剤フォゼベル錠の販売を開始（日本）
ESG	3/11	経済産業省より「健康経営優良法人2024（ホワイト500）」認定を取得（日本）
R&D	3/11	rocatinlimabのPhase2b試験のサブ解析データを米国皮膚科学会AADで発表
ESG	3/15	Shine a Light on XLH Virtual Exhibition 日本語訳版を公開（日本）
R&D	3/19	小児の異染性白質ジストロフィー（MLD）の治療法として開発したOTL-200（Lenmeldy）が、米国FDAによる承認を取得
R&D	3/28	抗FGF23抗体ブロスマブ（クリースビータ）の研究開発が日本薬学会創薬科学賞を受賞（日本）
前回決算発表からのアップデート		

ESG: 環境・社会・ガバナンス、LCM: ライフサイクルマネジメント、R&D: 研究開発、SCM: サプライチェーンマネジメント、SI: 戦略投資、SP: 戦略的パートナーリング、MKT: マーケティング

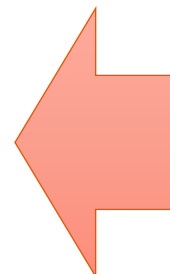
Appendix

Orchard Therapeutics社買収の企業結合会計（暫定値）

- ✓ 2024年1月24日に株式取得を完了し、実質的には2024年2月度より新規連結
- ✓ 無形資産\$208M、のれん\$282Mを計上予定
- ✓ 無形資産は20年間にわたり償却予定（Libmeldy/Lenmeldyは上市済のため、19年間で償却予定）

（単位 百万米ドル）

<p>【無形資産（\$208M）の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Libmeldy/Lenmeldy \$118M • OTL-203 \$90M <p>【年間償却費】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Libmeldy/Lenmeldy \$6M ⇒ 2024年2月～償却開始 • OTL-203 \$4M ⇒ 上市後償却開始予定



<p>諸資産 122</p>	<p>諸負債 91</p>
<p>無形資産 208</p>	<p>繰延税金負債 52</p>
<p>のれん 282</p>	<p>支払対価 478</p>
<p>その他の費用 9</p>	

- ✓ 当第1四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、上記は暫定的に算定された金額です。
- ✓ 上記の支払対価478百万米ドルは、オプション、Restricted Stock Unit等のその他証券についてOrchard社にて支払をおこなった金額を含んでおり、企業結合会計上の取得対価は386百万米ドル（約571億円）となります。

戦略投資について ~Life-changingな価値の継続的な創出に向けて

ポートフォリオ強化を目的とするライセンスイン、M&A投資

- 注力する疾患領域である、**骨・ミネラル、血液がん・難治性血液疾患、希少疾患**にプライオリティを置く

新たな強みを創造するサイエンス・テクノロジーへの投資

- 新たなモダリティや初期パイプラインの獲得、協業やコラボレーションの加速を目的とした投資
- 情報探索、アクセスを目的としたVC投資・CVC活動

2021-2025年中計キャッシュ・アロケーション*



*2021年2月4日公表の2021-2025年中期経営計画キャッシュ・アロケーション

主要開発パイプライン (Ph2以降)

	開発中の疾患*1	承認予定年*2	開発ステータス	市場規模*3	患者さんの数*4
KHK4083/ AMG 451 rocatinlimab	中等度から重症の アトピー性皮膚炎	2026/2027	P3 (グローバル)	★★★★★	16M
	中等度から重症の喘息	TBD	P2 (グローバル) 準備中	★★★★★	13.5M
	結節性痒疹	TBD	P3 (グローバル) 準備中	★★★★	1M
KHK4951 tivozanib	滲出型加齢黄斑変性	TBD	P2 (日・米)	★★★★	2,600K
	糖尿病黄斑浮腫	TBD	P2 (日・米)	★★★★	3,400K
OTL-203	ムコ多糖症I型 (Hurler症候群)	2029/2030	ピボタル試験*5 (米・欧)	★	生児出生の 10万人に1人*6
OTL-201	ムコ多糖症IIIA型 (Sanfilippo症候群A型)	TBD	PoC試験*7	★	10万人に1人

*1 本資料の発表時点で開発中の疾患であり、最終的に規制当局から承認される適応症とは異なる可能性があります。*2 最初に承認が期待される年です。*3 「開発中の疾患」に対する全製品の総和を基に当社が独自に推計した市場規模です。色付き部分はグローバル、それ以外は日本国内についての値です。★: 500億円未満、★★: 500億円以上-1000億円未満、★★★: 1000億円以上-5000億円未満、★★★★: 5000億円以上-1兆円未満、★★★★★: 1兆円以上 *4 当社独自の推計値です。色付き部分はグローバル、それ以外は日本国内についての値です。*5 P3試験相当。*6 「10万人に1人」はMPS-IH全体の値であり、Hurler症候群はこのうちの70%になります。*7 P1/2試験相当。

主要開発パイプライン（非臨床～Ph1）

	開発中の疾患*1	開発ステータス	モダリティ、使用技術
KK4277	全身性エリテマトーデス 皮膚エリテマトーデス	P1（日本）	抗体、POTELLIGENT®
KK2260	進行性又は転移性固形がん	P1 （日：進行中、米：準備中）	抗体、REGULGENT™
KK2269	進行性又は転移性固形がん	P1（日・米）	抗体、REGULGENT™
KK2845	急性骨髄性白血病（AML）	P1（日本）準備中	抗体薬物複合体（ADC）
KK8123	XLH	P1（米・欧）準備中	抗体

*1 本資料の発表時点で開発中の疾患であり、最終的に規制当局から承認される適応症とは異なる可能性があります。

主要開発パイプライン：今後の予定

T : トップラインデータ D : 詳細データ発表 (学会・論文等)

2024年5月7日現在

開発コード 一般名	標的疾患		2024	2025	2026	+	
KHK4083/ AMG 451 rocatinlimab	中等度から重症の アトピー性皮膚炎	P3					IGNITE
		P3					HORIZON
		P3					SHUTTLE
		P3					ASTRO
		P3					ORBIT
		P3					VOYAGER
		P3					ASCEND
		P3					OUTPOST
KHK4951 tivozanib	滲出型加齢黄斑変性	P2					
	糖尿病黄斑浮腫	P2					
KK4277	全身性エリテマトーデス 皮膚エリテマトーデス	P1					
KK2260	進行性又は転移性固形がん	P1					
KK2269	進行性又は転移性固形がん	P1					

為替関連情報

期中平均為替レート

	2023年Q1実績	2024年Q1実績	前年比	2024年 予想
米ドル (USD)	132円	147円	+15円	140円
英ポンド (GBP)	161円	187円	+26円	180円
ユーロ (EUR)	141円	160円	+19円	155円

2024年Q1 為替影響額 (前年対比)

	売上収益	コア営業利益
米ドル (USD)	+42億円	+10億円
英ポンド (GBP)	+4億円	-5億円
ユーロ (EUR)	+16億円	+10億円

2024年度 為替感応度 (業績予想ベース)

	変動	売上収益	コア営業利益
米ドル (USD)	1円安	+14億円	+4億円
英ポンド (GBP)	1円安	+2億円	-0億円
ユーロ (EUR)	1円安	+3億円	+2億円

Crysvita ～Ultragenyx社とのコラボレーション～

経済条件

アメリカ・カナダ

- 協和キリンが売上計上
 - 発売後5年間は50/50プロフィットシェア
 - 発売後6年目(2023年4月27日)からはUltragenyxに段階的な販売ロイヤルティ支払い(20%台中～後半)
 - 製品供給価格は2022年度までは売上の35%、以降は30%
- ※Ultragenyxは販売ロイヤルティを受け取る権利の30%をOMERS Capital Marketsに譲渡 (上限:譲渡対価の1.45倍)

ヨーロッパ

- 協和キリンが売上計上
 - Ultragenyxに10%以下の販売ロイヤルティ支払い
- ※Ultragenyxは販売ロイヤルティを受け取る権利をRoyalty Pharmaに譲渡 (上限:上限到達時期により譲渡対価の1.9倍または2.5倍)

ラテンアメリカ

- Ultragenyxが売上計上
- 協和キリンは販売ロイヤルティ受け取り(1桁%台前半)
- 製品供給価格は2022年度までは売上の35%、以降は30%

トルコ

- Ultragenyxが売上計上
- 協和キリンは販売ロイヤルティ受け取り(20%以下)

アジア・その他

- 協和キリンが売上計上

※すべての地域において製品供給は協和キリンが行う。

KHK4083/AMG 451 ~Amgen社とのコラボレーション~

	アメリカ	欧州、アジア (日本を除く)	日本
開発	<ul style="list-style-type: none"> • Amgenが開発主導 • 開発コストは両社で折半 	<ul style="list-style-type: none"> • Amgenが開発主導 • 開発コストは両社で折半 	<ul style="list-style-type: none"> • 協和キリンが治験主導
販売	<ul style="list-style-type: none"> • Amgenが販売、売上計上 • 協和キリンはコプロモーション、費用は両社で折半 	<ul style="list-style-type: none"> • Amgenが販売、売上計上 • 協和キリンはコプロモーションのオプトイン権利を保有 	<ul style="list-style-type: none"> • 協和キリンが販売、売上計上
売上ロイヤルティ	<ul style="list-style-type: none"> • 協和キリンは2桁%台の売上ロイヤルティを受領 	<ul style="list-style-type: none"> • 協和キリンは2桁%台の売上ロイヤルティを受領 	
製品供給	<ul style="list-style-type: none"> • Amgen 	<ul style="list-style-type: none"> • Amgen 	<ul style="list-style-type: none"> • 協和キリン

協和キリンは、契約一時金 (400百万ドル、受領済み) のほか、今後、条件に応じたマイルストーン収入 (累計で最大850百万ドル) と売上ロイヤルティをAmgen社より受領予定

推定患者数

疾患	国/地域	発生率	有病率*	出典
PTCL	日本		2,000	厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別
CTCL	日本		2,000	厚生労働省 平成29年患者調査、傷病基本分類別
	米国	1,500 / 年		SEER Data (2001-2007)
XLH	日本	1:20,000	成人: 5,000 小児: 1,000	本疾患の推定発症率に基づく概算; Nationwide survey of fibroblast growth factor 23 (FGF23)-related hypophosphatemic diseases in Japan: prevalence, biochemical data and treatment. (Endo I et al., Endocr J., 2015)
	欧州	1:20,000	成人: 12,000 小児: 3,000	本疾患の推定発症率に基づく概算
	米国	1:20,000	成人: 12,000 小児: 3,000	本疾患の推定発症率に基づく概算; New perspectives on the biology and treatment of X-linked hypophosphatemic rickets. (Carpenter TO, Pediatr Clin North Am., 1997)
TIO	日本		30	2010年 厚生労働省 ホルモン受容機構異常に関する疫学調査研究
	米国		500-1,000	Ultragenyx社調査
AD	日本、北米、欧州		30,000,000	Decision Resources社調査
nAMD	日本、米国		2,300,000	Decision Resources社調査
MLD	グローバル	1:40,000-160,000		https://medlineplus.gov/genetics/condition/metachromatic-leukodystrophy/#frequency
MPS-IH	グローバル	1:100,000		Puckett et al. 2021 Orphanet J Rare Dis 16:241: US NBS data (MPS-I incidence derived from NBS data in Table 3)
MPS-IIIA	グローバル	1:100,000		Trinity Partners research report 2013 based on literature and KOL feedback

* 有病率は国または地域の全人口あたりの推定人数

略語集

AD	Atopic Dermatitis	アトピー性皮膚炎
AG	Authorized Generic	オーソライズド・ジェネリック
APAC	Asia-Pacific	アジア太平洋
AML	Acute Myeloid Leukemia	急性骨髄性白血病
BS	Biosimilar	バイオ後続品
CTCL	cutaneous T cell lymphoma	皮膚T細胞リンパ腫
DME	Diabetic Macular Edema	糖尿病黄斑浮腫
EMEA	Europe, the Middle East and Africa	欧州・中東・アフリカ
JP	Japan	日本
LCM	Lifecycle Management	ライフサイクルマネジメント
MDS	Myelodysplastic syndromes	骨髄異形成症候群
MF	Mycosis fungoides	菌状息肉腫
MLD	Metachromatic Leukodystrophy	異染性白質ジストロフィー
MPS-IH	Mucopolysaccharidosis type I, Hurler syndrome	ムコ多糖症I型（ハーラー症候群）
MPS-IIIA	Mucopolysaccharidosis type IIIA	ムコ多糖症IIIA型
NA	North America	北米
nAMD	neovascular Age-related Macular Degeneration	滲出型加齢黄斑変性
PTCL	peripheral T-cell lymphoma	末梢性T細胞リンパ腫
SS	Sézary syndrome	セザリー症候群
TIO	Tumor Induced Osteomalacia	腫瘍性骨軟化症
XLH	X-linked Hypophosphatemia	X染色体連鎖性低リン血症



～本資料のお問合せ先～

協和キリン株式会社

コーポレートコミュニケーション部

03-5205-7206 / ir@kyowakirin.com